

社団法人春日井青年会議所

① 青年会議所とは

青年会議所は、「明るい豊かな社会」の実現を同じ理想とし、次代の担い手たる責任をもった20歳から40歳までの指導者たらしとする青年の団体です。

青年は、人種・国籍・性別・職業・宗教の別なく、自由な個人の意思によりその居住する各都市の青年会議所に入会できます。

40余年の歴史を持つ日本の青年会議所運動は、めざましい発展を続けておりますが、現在700余の都市に4万余名の会員を擁し、全国的運営の総合調整機関として公益社団法人日本青年会議所が東京にあります。全世界に及ぶこの青年会議所運動の中核は国際青年会議所ですが、110カ所の国及び地域に94NOM(国家青年会議所)があり、約36余万人が国際的な連隊をもって活動しています。

日本青年会議所の事業目的は、「社会と人間の開発」です。その具体的事業としてわれわれは市民社会の一員として、市民の共感を求め社会開発計画による日常活動を展開し、「自由」を基盤とした民主的集団指導能力の開発を推し進めています。

さらに日本の独立と民主主義を守り、自由経済体制の確立による豊かな社会を作り出すため、市民運動の先頭に立って進む団体、それが青年会議所です。

② 2012年度理事長所信

<はじめに>

～混沌とした時代だからこそ～

1969年、日本で408番目のLOMとして(社)春日井青年会議所は誕生致しました。地域社会の発展に向け先輩諸兄が幾多の試練を乗り越え志をひとつにし、その時代に合わせたかたちで発信しつつ、熱い想いは継承され44年目を迎えます。我が国は、戦後復興の時代から高度経済成長を経て物質的には豊かで便利な社会になりました。しかし古来より受け継がれる日本の精神性や道徳心、他人の幸せを自分事と捉えて行動する利他の精神が希薄となり、目を覆いたくなる様な犯罪や事件が連日のように報道され、とても明るいとは言えない状況が今ここにあると感じます。このような混沌とした時代だからこそ、地域社会が更に笑顔であふれ、こころ豊かな社会の実現に向け、相手の立場で物事を考え支え合う“OMOIYARI”のこころや、全てを敬う“感謝のこころ”を、無限の可能性を信じ自らが発振源となり、熱い想いを強く伝える事が我々青年の使命です。

～自らが発振源となりこころを動かす～

<(社)春日井青年会議所の目指すかたち>

～すべては春日井のまちにすむ人々の笑顔のために～

春日井のまちに住む人々が大人も子供も分け隔てなくこころと心で繋がり、“OMOIYARI”や“感謝のこころ”を大切に、そこに住む人々や我がまちのために自ら行動できる人が合い集い、このまちの事を大好きなひとであふれる事が“こころ豊かな社会”の創造につながると確信します。そして自分たちの住むまちだからこそ自然環境にも配慮し、水や緑に囲まれながら豊かな自然と共に暮らせる社会を創造し、次世代の子ども達にも引き継いでいかなければなりません。そのために私たちはより多くの人たちと愛するまちの未来について本音で夢を語り合い、我がまちに愛着と誇りを持ち“夢と希望”に充ち溢れたまちを共創し発振していく事が重要です。JC しか無い時代からJC もある時代と近年よく言われてまいりましたが、私たちにしか出来ない事や、やらなければならない事が必ずあります。会員ひとり一人が青年会議所運動と私たちの存在意義を今一度見つめ直し、歴史と伝統を大切にしながら今の時代に即したかたちで、私たちが先頭に立ち青年らしく新たな事へ積極果敢に“挑戦”していかなければなりません。そして公益社団法人を目指す団体として、胸のバッチに“勇気と誇り”を持ち、利他のために率先して行動しこころから想いを伝えることで、関わるすべての人の意識が変革すると考えます。ひとはこころが動かされた時こそ意識が変わります。そこからひとり一人の行動が変わりこころ豊かな社会の実現に向けて必ず近づいて行くと確信します。

～こころが伝われば意識が変わる！意識が変われば行動が変わる～

<未来を見据えて>

～キラキラと輝くまちと人～

現代社会は物質的な豊かさを追求するあまり、自己中心的となり、まちや地域への関心が薄れ隣に住む人のことさえ分からないことも少なくありません。昔と比べ人とひとの繋がりが希薄となり地域の力がより一層重要視されています。私たちはこころ豊かな社会の実現に向け、地域毎でリーダーシップを発揮し率先して行動できる人間力溢れた人を育み、世代を超えたふれ合いから人とひとの絆を深め地域の力を更に強くする事が大切です。そして、地域の力が子どもたちの教育にも繋がり学校、家庭、地域社会が連携を図り、地域の大人や親が子ども達の模範となって、大きな愛で子ども達を包み、次世代を担う子ども達に自らの将来へ夢や希望を持つことの重要性や、すべての物やひとへ“感謝のこころ”を共に育みます。そこから、こころと心が繋がり、“OMOIYARI”あふれるキラキラと輝くまちになると確信します。私たちは 10 年 20 年先を見据えながら春日井のまちにすむ全ての人が笑顔であふれ、未来に夢や希望を持ちいきいきと暮らせる“まちづくり・ひとづくり”運動を積極的に取り組みこころから発振してまいりましょう。

～まちづくり・ひとづくりは我がまちを愛するこころの拡大です～

<こころある会員の力>

～こころとこころで繋がるかたち～

私たちは昨年愛知ブロック会員大会を主管し事業を通じて LOM が一丸となり、リーダーシップを発揮できる多くの人財が誕生し勢いのある春日井を広く発信する事が出来ました。その勢いを継続させ LOM 全体で組織力を持って会員拡大に努め、一人でも多くの志を同じくする青年を増やす

事が、更なる明るい豊かな社会の創造につながります。そして会員ひとり一人が JC 活動をさせて頂いている事に感謝と喜びを感じ、本当に大切な物を見失わないように、その時々での優先順位を自らが判断し、今やらなければ成らない事を見極め“明るく笑顔”で JC 運動を展開してまいりましょう。また会員の資質向上にも積極的に努め、(社)春日井青年会議所の代表である事に自覚と責任を持ち、自らが学び知識と経験を生かしながら利他のために“奉仕”し、会員同志が汗し涙しそのプロセスで“修練”させて頂いている事を忘れてはいけません。そこから生まれる“友情”は強く固い絆で結ばれ“こころと心で繋がり”、組織を更に強くすると考えます。事業をこなす事に力を注ぎ自己の満足に終わらぬように、目的を明確に持ち誰のために何をするのか考え、柔軟に対応し“進化向上”し続けてまいりましょう。また、JC のネットワークを活かし LOM の垣根を超え共に切磋琢磨出来る環境があります。愛知ブロック 東海地区、そして日本青年会議所へと様々なフィールドに飛び込み、新たな出会いや気づきを自ら掴み、魅力ある JAYCEE に成長し、こころ豊かな人財になると信じます。だからこそ、積極的に新たな一歩を踏み出してまいりましょう。

～会員ひとり一人の汗と涙がこころを動かす～

<結びに>

未来を切り開くのはいつの時代も青年です、かつて激動の幕末期に数多くの志士たちが日本のために行動したように、私たちも志を同じくし地域社会のために自らのなすべき事を考え率先して行動し、常に夢に向かって一歩ずつ、歩みを止めずに発振していく事が青年としての使命でもあります。その歩幅は様々かもしれませんが、決して歩くのを諦めなければ我々が思い描く“こころ豊かな社会の実現”というゴールに向けて進んでいけると確信します。青年会議所は無数の可能性のある団体です。私たちの取り巻くすべてのひとが、春日井そして日本に感謝し“生まれてきてよかった”と思えるように、夢と希望と誇りを胸に青年会議所運動を邁進していきましょう。

③ 基本方針・基本理念

○ 基本理念

私たちは、『春日井 JC ハートフルプラン』を行動指針に掲げ、「このまち」を愛することを機軸に、すべての市民を視野に入れた“豊かな心と笑顔あふれるまちづくり”を実践します。

そして、春日井の JAYCEE としての誇りを胸に、常に主体性を持って一歩先を見据えた社会改革運動を積極果敢に行います。

○ 基本方針

1. 魅力あるまちの未来と次世代へ繋げる環境の共創発振
2. こころ豊かな社会の創造とリーダーシップ溢れる人材育成の推進

3. 夢あふれる青少年育成と人とひとがふれ合う地域のちからの向上
4. 会員の絆育む資質向上事業と全会員で取り組む会員の拡大の実施
5. 法人制度改革に伴う（社）春日井青年会議所の更なる創造

④ 今後の課題

- ・ 法人制度改革
公益社団法人取得に向けて ー事業内容の変容ー
- ・ JC しかない時代から JC もある時代へ